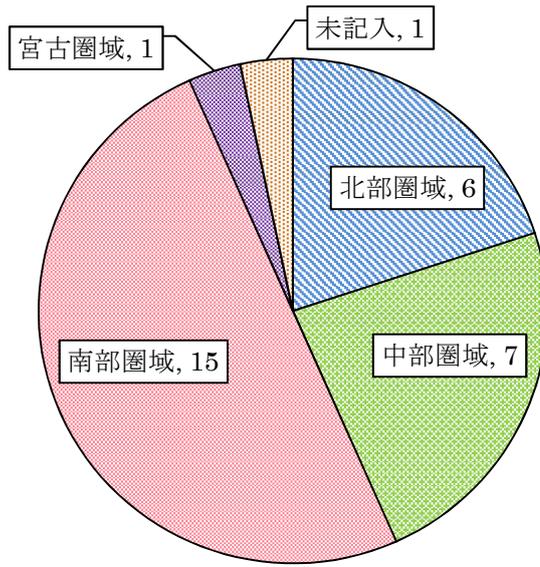


『 発達障害診療に関する追加アンケート（令和 3 年度） 』

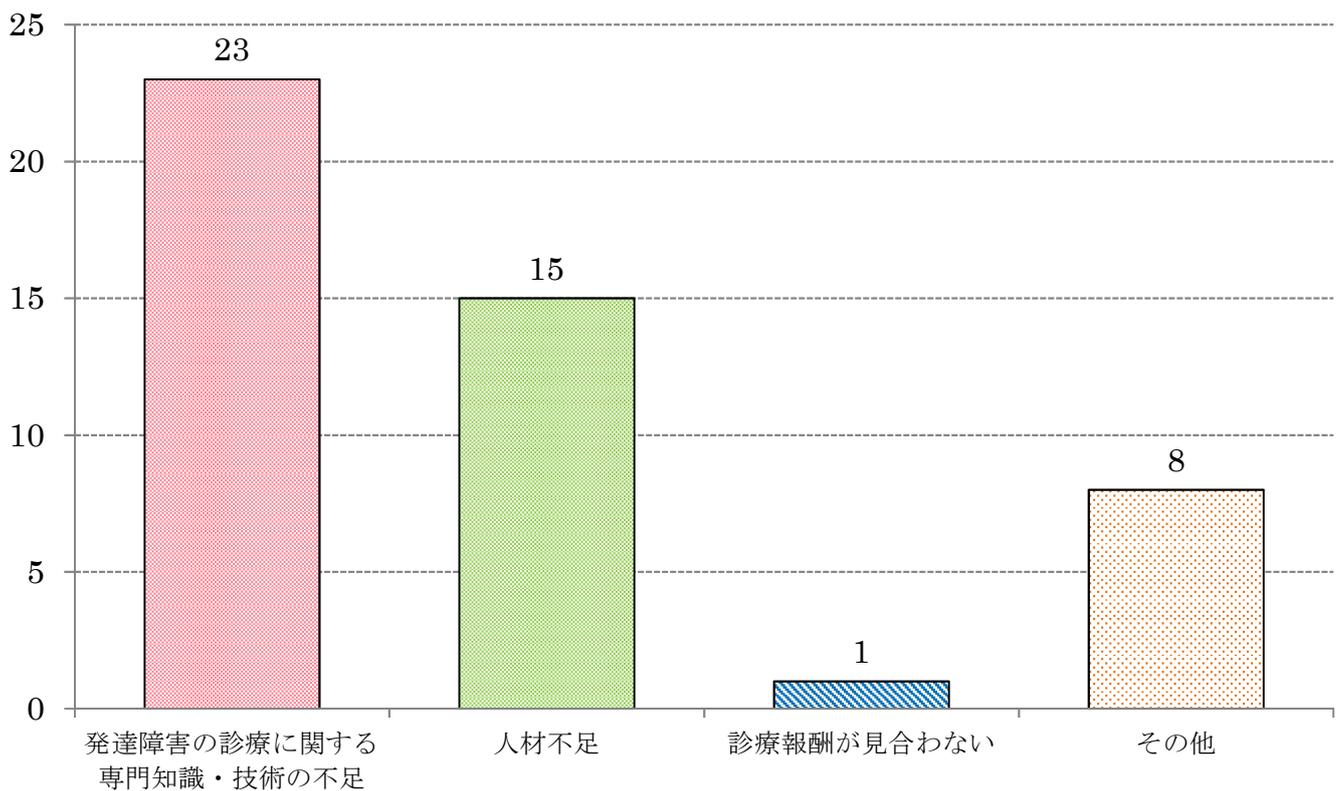
- ◆ 対象：令和 3 年 8 月～9 月に実施した「発達障害診療に関するアンケート（令和 3 年度）」において、主に「発達障害児・者（疑い含む）の診療は行っていない」と回答した医療機関（103 ヶ所）
- ◆ 回答数：30 ヶ所 ◆ アンケート回答数：29%

I.所在地について（該当する項目に✓をしてください。）



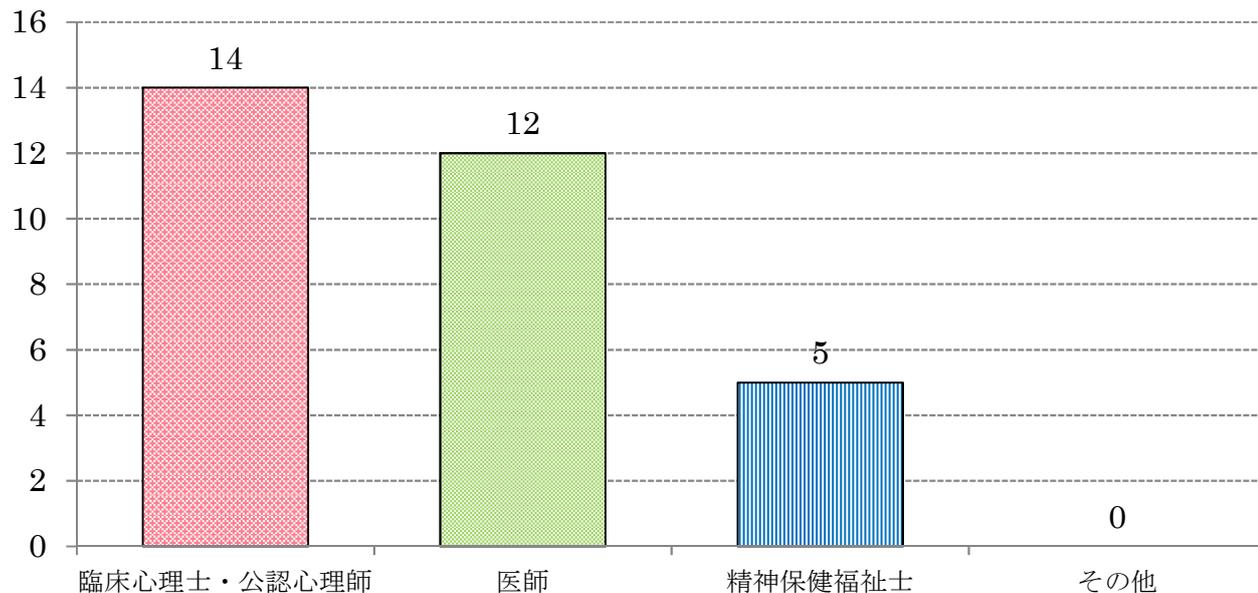
II.アンケート調査（該当する項目に✓をしてください。）

(1) 発達障害児・者（疑い含む）の診療を行っていない理由について、ご回答ください（複数選択可）

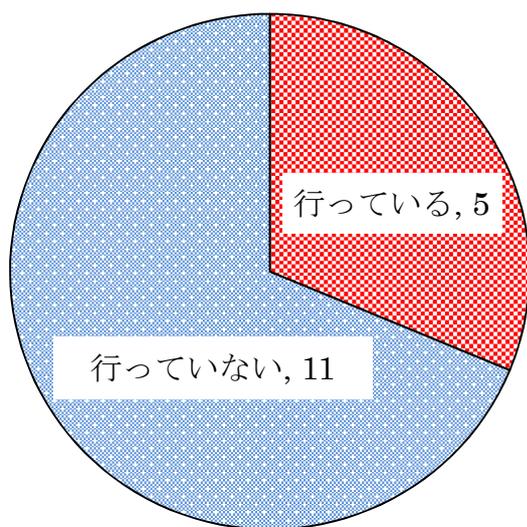


(2) II-(1) で「人材不足」と回答した施設へのご質問です。

ア. どのような職種が人材不足となっていますか。(複数選択可)



イ. 前記アの職種について、求人を行っていますか。(複数選択可)

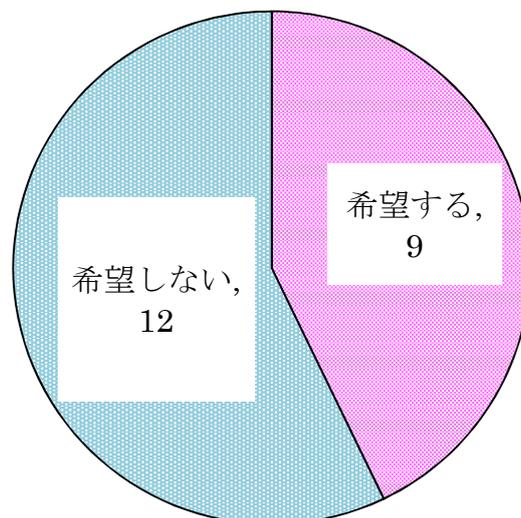


イ. 求人を「行っている」職種の内訳

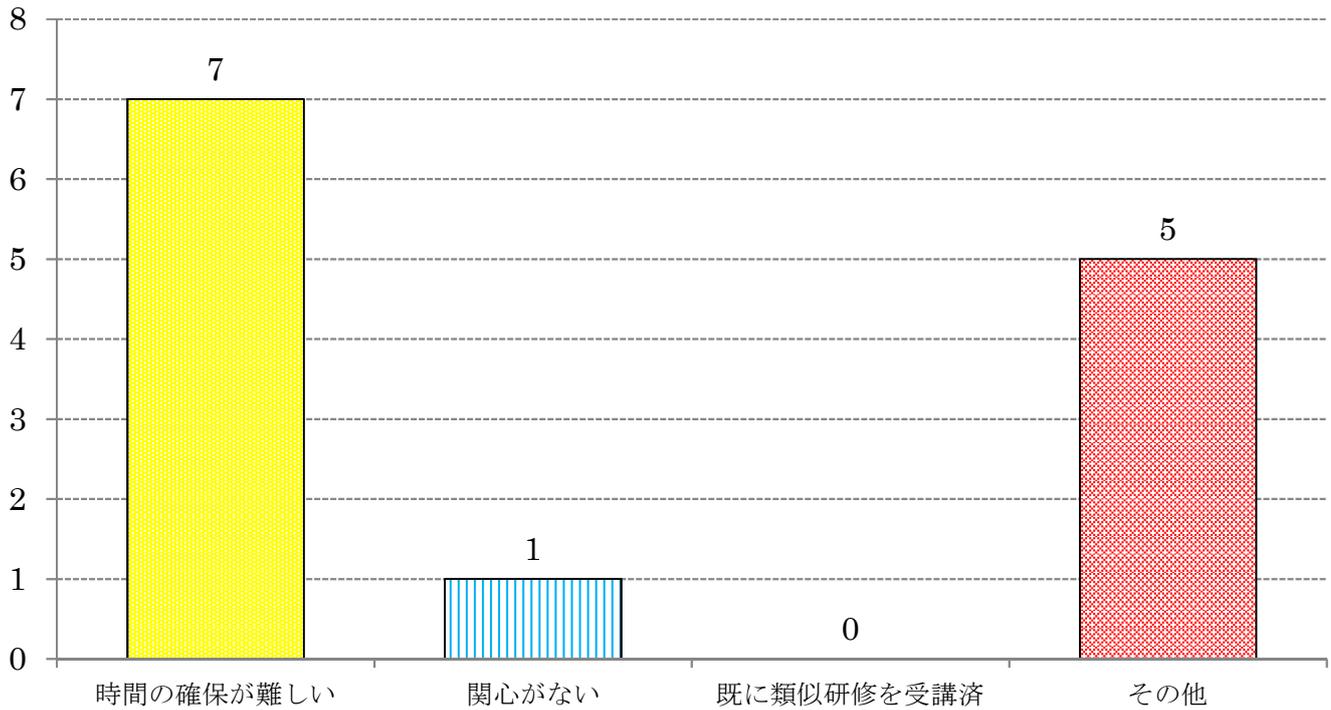
医師	3
臨床心理士・公認心理師	2
精神保健福祉士	0
その他	0

(3) II-(1) で「発達障害の診療に関する専門知識・技術の不足」と回答した施設へのご質問です。

ア. 「発達障害」や「子どもの心の診療」に関する医療従事者向け研修があった場合、受講を希望しますか。

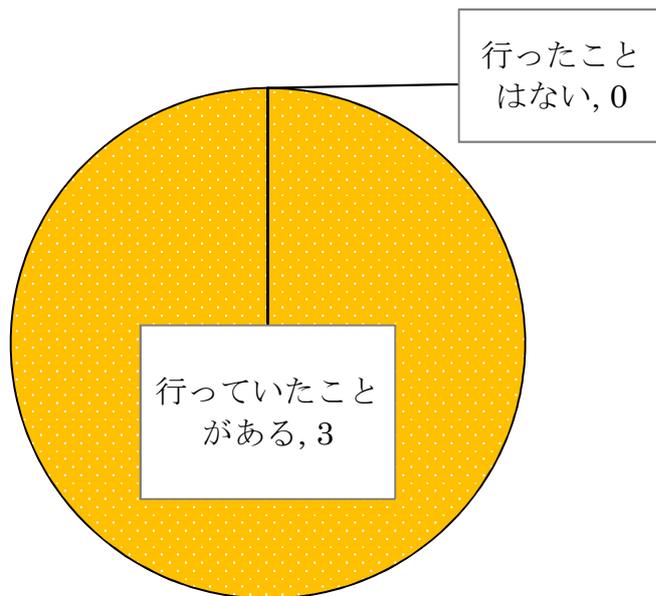


イ. 前記アで「希望しない」と回答した場合、その理由をお答えください。

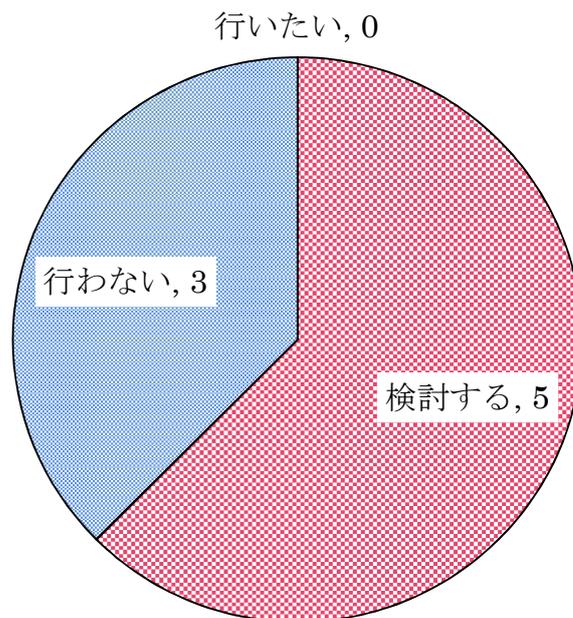


(4) II-(1) で「診療報酬が見合わない」と回答した施設へご質問です。

ア. 過去に「発達障害」や「子どもの心の診療」に関する診療を行っていましたか。



イ. 診療報酬が適正な水準となった場合、「発達障害」に関する診療を行ないますか。



Ⅲ. 今後、県内の発達障がい診療体制を充実させていく上で必要なこと（課題等）あれば、ご記入ください。

- みる側の人間性、人材、経営上の余力など。
- 人材の確保及び研修。
- 近くに相談・紹介できる専門医・医療機関があればハードルが下がると思う。
- 専門医の不足。
- 発達障害の方を診ている医療機関リスト、紹介方法を知りたい。
- 現状把握情報を簡単にアクセスする所が不明。
- やはり、発達障害診療に関する専門知識を持った先生の絶対数が不足していると感じる。診療報酬を上げる必要があると思う。
- 発達障害に特化したデイケアやリハビリプログラム事業（公営、民営）があればタイアップして受け入れやすくなるのでは。
- 行政との連携。
- 勉強会、交流会。

Ⅳ. 発達障害の診療に関して、上記以外で御意見等ありましたら自由にご記入ください。

- 発達障害はいろいろなタイプがあり、診療は当事者の人生に大きな影響を与える。そのために勉強する時間、経験、診察側の余力など、さまざまな要素もあり、簡単に出来るとは言えないのが難しい点だと思う。
- オンライン診療は活用できませんか？
- 当院の現状ですが、小児科医師の退職、異動が続き、絶対数そのものが不足し、発達障害診療に限らず、一般診療にも支障をきたしている状態。
- なぜ発達障害が起きるのか？なぜ増えているのか？原因を探るのが先だと思う。

